よこはま市工連

Yokohama shikouren

No.82

区の花：港南区（ヒマワリ）

区の花：南区・戸塚区（サクラ）

区の花：港南区・瀬谷区（アジサイ）

（「区の花」写真提供：公益財団法人 横浜市緑の協会）

目　次

令和２年度 横浜市工業会連合会 役員等 …… 1
委員会の活動報告 …… 3
令和２年度 横浜市工業会連合会事業計画 …… 4
特集 人材確保・育成支援の取組み …… 6
市工連からのお知らせ …… 9
令和２年度横浜市予算に対する産業振興に関する要望についての横浜市からの回答 …… 11
令和２年度５月補正予算における横浜市経済局制度のご案内 …… 13
協賛企業広告 …… 14

発　　刊　　日：令和２年７月31日
編 集 ・ 発 行：一般社団法人横浜市工業会連合会
〒231−0023 横浜市中区山下町２番地 産業貿易センタービル２階
TEL. 045−671−7051 FAX. 045−671−7321
URL：http://www.y-shikouren.or.jp/
デザイン･印刷：有限会社双葉印刷所

令和２年度
横浜市工業会連合会 役員等

令和２年６月25日（木）ローズホテル横浜において令和２年度第１回理事会・定時総会、第２回理事会が開催されました。令和元年度の事業報告・決算報告に加え、令和２年度予算の補正、地域工業会の役員改選等に伴う市工連理事等の選任、会長･副会長の選定が審議され、すべて承認されました。

理事会終了後に工業団体役員表彰を行い、例年行われていた役員懇親会は中止となりました。

役員表彰
加藤　卓郎　理事

新任
栗原　敏郎　理事

新任
加藤　豊　理事

令和２年度横浜市工業会連合会役員名簿

役職名	氏　名	事業所	役職
会　長	榎本英雄	海洋電子工業株式会社	代表取締役社長
副会長	加藤卓郎	株式会社加藤組鉄工所	代表取締役社長
〃	斎藤隆正	株式会社ワイシー・ドキュメント	取締役顧問
〃	黒田憲一	大洋建設株式会社	代表取締役社長
〃	寺嶋之朗	プリンス電機株式会社	代表取締役社長
〃	稲村直之	有限会社稲村建具	代表取締役
理　事	桐ヶ谷修幸	株式会社桐ヶ谷工業所	代表取締役
〃	栗原敏郎	株式会社大協製作所	代表取締役会長
〃	長谷川浩正	日興テクノス株式会社	代表取締役社長
〃	松村洋一	協立金属工業株式会社	代表取締役
〃	加藤豊	第一カーボン株式会社	代表取締役
〃	山﨑一	株式会社山喜	代表取締役
〃	星﨑雅代	横浜市経済局	局長
専務理事	川﨑圭子	一般社団法人横浜市工業会連合会	専務理事
監　事	猪鼻久義	猪鼻会計事務所	
〃	志村洋一	鶴見プレス工業株式会社	代表取締役社長

令和２年度横浜市工業会連合会委員会名簿

委員会	役職	氏　名	会社名	会社役職
総務委員会	委員長	黒田憲一	大洋建設株式会社	代表取締役社長
	副委員長	栗原敏郎	株式会社大協製作所	代表取締役会長
	委　員	和田晃	東洋電装株式会社	代表取締役会長
	〃		（神奈川工業会･未定）	
	〃	高際清彦	古河電気工業株式会社　横浜事業所	総務課長
	〃	横山敦子	株式会社カンザイ	代表取締役
	〃	鈴木清	港南テクニクス株式会社	相談役
	〃		（磯子工業会･未定）	
	〃	松村洋一	協立金属工業株式会社	代表取締役
	〃	武居正則	株式会社武居商店	代表取締役
	〃		（横浜北工業会･未定）	
	〃	田島圭一	株式会社田島精研	代表取締役

委員会	役職	氏　名	会社名	会社役職
政策委員会	委員長	稲　村　直　之	有限会社稲村建具	代表取締役
	副委員長	伊　藤　知　之	日本貿易印刷株式会社	代表取締役社長
	委　員	松　尾　文　明	株式会社松尾工務店	代表取締役社長
	委　員		（神奈川工業会･未定）	
	委　員	花　本　高　志	株式会社ダイイチ	取締役社長
	委　員	岡　部　郁　子	岡部産業株式会社	常務取締役
	委　員	達　知　剛　志	株式会社ブレスビット	代表取締役
	委　員	栗　原　敏　郎	株式会社大協製作所	代表取締役会長
	委　員		（磯子工業会･未定）	
	委　員	真　鍋　緑　朗	アールグラット株式会社	代表取締役
	委　員	梶　田　兼　一	株式会社カジタ	代表取締役
	委　員		（横浜北工業会･未定）	
	委　員	藤　澤　秀　行	株式会社ニットー	代表取締役
事業・企画委員会	委員長	加　藤　卓　郎	株式会社加藤組鉄工所	代表取締役社長
	副委員長	井　上　博　海	恵積興業株式会社	代表取締役会長
	委　員	千　葉　　護	株式会社京南	代表取締役
	委　員		（神奈川工業会･未定）	
	委　員	山　口　喜久雄	株式会社ヤマグチレッカー	代表取締役
	委　員	山　本　耕　司	株式会社マック	代表取締役社長
	委　員	江　藤　忠　勝	有限会社龍昇堂	代表取締役
	委　員		（磯子工業会･未定）	
	委　員	横　山　雅　行	平和産業運輸株式会社	代表取締役
	委　員	向　井　一　馬	株式会社三和化成工業	取締役
	委　員		（横浜北工業会･未定）	
	委　員	金　子　一　彦	三宝精機工業株式会社	代表取締役社長
	委　員	高　橋　正　徳	ヤマセ精機株式会社	代表取締役社長
広報・産学委員会	委員長	斎　藤　隆　正	株式会社ワイシー・ドキュメント	取締役顧問
	委　員	山　本　公　彦	株式会社丸屋神奈川製作所	代表取締役
	委　員		（神奈川工業会･未定）	
	委　員	関　　曙　慶	曙建設株式会社	名誉会長
	委　員	島　田　秀　世	有限会社旅館松島	代表取締役
	委　員	橋　爪　重　信	新倖機材株式会社	代表取締役
	委　員	寺　井　　享	寺井印刷工業株式会社	代表取締役
	委　員		（磯子工業会･未定）	
	委　員	大　瀬　雅　博	大瀬工業株式会社	代表取締役社長
	委　員	大　村　直　樹	横浜鉄工株式会社	代表取締役
	委　員		（横浜北工業会･未定）	
	委　員	冨　安　健　司	株式会社日立製作所システム＆サービスビジネス統括本部	総務グループ部長代理
	委　員	南　川　拓　也	株式会社ミナミ技研	代表取締役
雇用・環境委員会	委員長	寺　嶋　之　朗	プリンス電機株式会社	代表取締役社長
	委　員		（神奈川工業会･未定）	
	委　員	荒　木　郁　雄	荒木工業株式会社	取締役社長
	委　員	馬　場　智　章	東亜道路工業株式会社	製造課長
	委　員	成　澤　　宏	医療法人社団成澤会清水橋クリニック	副理事長
	委　員		（横浜西部工業会･未定）	
	委　員		（磯子工業会･未定）	
	委　員	黒　岩　　勉	株式会社羽後鍍金	代表取締役社長
	委　員	藤　枝　慎　治	株式会社グーン	代表取締役会長
	委　員		（横浜北工業会･未定）	
	委　員	若　林　　伸	株式会社ブリヂストン　横浜工場	総務部長
	委　員	鈴　木　瑞　貴	株式会社オースズ	代表取締役
施策検討会	委　員	河　原　章　夫	東京電力パワーグリッド株式会社　鶴見支社	支社長
	委　員	石　井　一　登	石井建設工業株式会社	代表取締役社長
	委　員		（神奈川工業会･未定）	
	委　員	高　橋　幸　夫	かちどき特許事務所	所長
	委　員	高　木　康　志	高木弁理士事務所	所長
	委　員	浦　野　富士夫	株式会社セレベル	総支配人
	委　員	平　野　裕　之	株式会社平野製作所	代表取締役
	委　員	安　田　芳　郎	株式会社安田製作所	代表取締役
	委　員	安　澤　芳　生	協同工業株式会社	代表取締役社長
	委　員		（磯子工業会･未定）	
	委　員	児　玉　聖　司	株式会社ワン・ツー・ストック	代表取締役
	委　員	増　田　孝　一	岡谷セイケン株式会社	代表取締役
	委　員		（横浜北工業会･未定）	
	委　員	加　藤　高　智	有限会社工研	代表取締役
	委　員	清　水　敏　博	一般社団法人ＬＴＲコンサルティングパートナーズ	代表理事
	委　員	山　﨑　　一	株式会社山喜	代表取締役

※副委員長未定の委員会及び委員未定の工業会・事業会については、7月以降に決定する予定です。

委員会の活動報告

市工連の各委員会の活動についてご報告します。

【総務委員会】

主に、市工連の理事会・総会の開催前に議案を審議しています。

６月　第１回理事会・定時総会、第２回理事会の主な議題
（事業報告・決算、理事の選任についてなど）

３月　第３回理事会・予算総会の主な議題
（事業計画・予算についてなど）

その他、市工連役員への周知が必要な報告事項についても話し合われます。

【政策委員会】

毎年秋に、「横浜市予算に対する産業振興に関する要望書」を横浜市長に提出するために、地域工業会・事業会等の要望をとりまとめています。

（１）年度初めに、前年度の要望書の内容が横浜市の施策にどのように反映されているかを確認し、今年度の要望書提出へ向けて準備をします。

（２）夏には施策検討会を行い、政策委員と各工業会から選出された施策検討会メンバーで、会員企業のニーズとこれまでの施策等に関する議論の場を持ち、要望内容をまとめていきます。

（３）横浜市長への予算要望書提出の際には、委員会を代表して数名が参加しています。

令和元年10月23日　林市長への要望書提出時の様子

【事業・企画委員会】

新規の事業や研修会・講習会等の企画及び各種事業の調整に関する事項について審議しています。

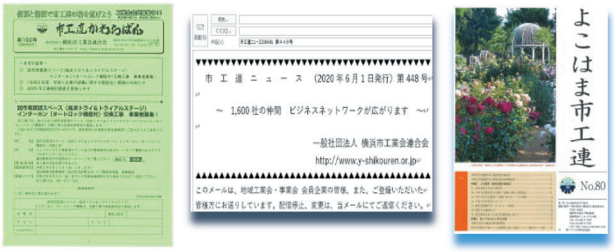
また、「産貿ホールの運営」や「試作用賃貸スペース（鳥浜トライ&トライアルステージ）事業」についても審議します。

【広報・産学委員会】

主に広報活動について審議しています。

（１）インターネットを活用した情報提供
ホームページ、メールマガジン等を活用した効果的な情報の提供

（２）機関誌等の発行
市工連の機関誌「よこはま市工連」（年２回）、各種事業を案内する広報紙「市工連かわらばん」を地域工業会と連携し発行（年６回）。
なお、機関誌「よこはま市工連」の発行に先立ち、年２回の委員会を４月と11月に開催しています。



【雇用・環境委員会】

人材確保、人材育成などの雇用に関する事項と、温暖化対策及び省エネルギー等環境保全対策や産業廃棄物及び資源リサイクルに関することについて審議します。

各委員の皆さまには、常日頃ご協力いただき、有難うございます。

なお、今年の２月～５月の委員会は、新型コロナウイルス感染拡大や緊急事態宣言をうけて書面開催となりました。

令和２年度
横浜市工業会連合会事業計画

横浜市工業会連合会（市工連）では、令和２年度（2020）についても、「Ⅰ　ものづくり活性化事業」、「Ⅱ　産業振興施設の管理運営」、「Ⅲ　市工連及び地域工業会の活性化」、「Ⅳ　法人運営（法人会計）」の4つの柱で事業を進めます。

Ⅰ　ものづくり活性化事業
【25,564千円】

１　販路拡大事業

（１）商談会等の開催

（公財）神奈川産業振興センター、（公財）川崎市産業振興財団と共催で開催します。

㋐　受発注商談会　　川崎会場
（オンラインへ変更）
令和２年９月～10月

㋑　受発注商談会　　横浜会場
令和３年２月３日（水）

（２）工業技術見本市「テクニカルショウヨコハマ2021」の開催

（公財）神奈川産業振興センター、神奈川県、横浜市との共催で開催します。

開催日：令和３年２月３日（水）～５日（金）
会　場：パシフィコ横浜　展示ホールA･B･C

（３）横浜ネットワークプラス（受発注情報システム）の運営

ネットワークプラスを活用した企業紹介等、企業のビジネスチャンスの拡大を促進します。今年度は登録企業の情報を更新します。

（４）横浜市との事業連携

横浜市が成長戦略として進める、I・TOP横浜やLIP横浜などのオープンイノベーションを活用した施策について、会員への周知等、横浜市と連携して事業推進します。

２　ものづくり人材育成支援事業

（１）新入社員合同研修（緊急事態宣言発令中のため中止）

マナー研修のほか、「帆船日本丸」でのマスト登りや漕艇等の訓練による合同研修で、チャレンジ精神や協調性を養成し、企業の将来を託せる人材を育成します。

日程：令和２年４月15日（月）～16日（火）
会場：帆船日本丸・同訓練センター

（２）新入社員等フォローアップ研修・交流会

今年度入社された新入社員や中途採用で入社された方など、入社2年までの若手社員を対象に、会社の戦力として活躍する人材を育成するとともに、参加者の同世代ネットワークの形成を支援します。

（３）就職に関する懇談会の開催

県立高校等の進路指導担当教員と市内中小企業の経営者や採用担当者等を対象に、企業の採用情報や生徒の就職状況等について情報交換する懇談会を開催

日時：令和２年６月16日（火）14:00～
会場：横浜産貿ホール　マリネリア

（４）ものづくりの魅力を伝える事業

㋐　出前講座の開催

経営者や技術者が、高校生・大学生や職業訓練生に対し、中小企業の仕事ややりがいについて講演します。

㋑　工場見学会の開催

就職指導教員と高校生・職業訓練生等を対象に、市内中小企業の工場見学会を開催します。

㋒　ものづくり企業紹介フェアの開催

神奈川県内の高校生を対象に、中小企業経営者の講演会及びテクニカルショウヨコハマ見学会を実施します。

（５）技術者育成支援事業

中小製造業の礎となる人材の育成、社内の技術力向上、技術承継を推進するため、従業員の技能資格の取得に対して受検料を助成します。

（６）多様な人材活用の支援

製造業をはじめとする市内中小企業の人材確保を支援するため、女性、高齢者、外国人など多様な人材の活用に関する情報提供を実施します。

（７）横浜市就職サポートセンター事業への協力

若年層やシニア、女性等の就職支援として、横浜市が実施する「横浜市就職サポートセンター事業」インターンシッププログラムの受入企業募集に協力します。

（８）中小企業の人材確保支援事業

製造業をはじめとする市内中小企業の人材確保を支援するため、横浜市経済局等と連携して事業を推進します。

Ⅱ　産業振興施設の管理運営

【90,348千円】

1　試作用賃貸スペース（鳥浜トライ＆トライアルステージ）事業

試作用賃貸スペース（鳥浜トライ＆トライアルステージ）を管理運営し、新製品の開発や新規事業分野への参入を図る中小製造業を支援します。

今年度は、インターホン（建物入口⇔各入居区画）を改修します。

また、当施設の安定運営を図るとともに、建設時の借入金を返済します。

・所在地：横浜市金沢区鳥浜町16－６
・施設内容：試作用賃貸スペース　全５区画

2　横浜産貿ホール（マリネリア）の管理・運営事業

横浜産貿ホールを管理・運営し、産業と貿易に関する見本市や展示会などの開催の場を提供することで、神奈川県・横浜市内の産業の発展を支援します。

今年度は、スライディングウォールの点検・補修を実施します。

・所在地：横浜市中区山下町２番地
産業貿易センタービル
・施設内容：１F展示場（1,630㎡）
２F小展示室（70㎡）

Ⅲ　市工連及び地域工業会等の活性化の取組み

【8,385千円】

1　地域工業会・事業会及び青年経営者会を支援するほか、５つの委員会を設け、各種事業を検討・実施します。

◎総務委員会
◎政策委員会
◎事業・企画委員会
◎広報・産学委員会
◎雇用・環境委員会

2　情報発信事業

（1）インターネットの活用

ホームページ、メールマガジン等でタイムリーに情報提供します。

（2）機関誌等の発行

・機関紙「よこはま市工連」を年2回発行し、各種情報提供するとともに、会員同士の交流を図ります。
・情報紙「市工連かわらばん」を年6回発行し、各種事業について周知を図ります。

3　すぐれたアイディア提案者表彰

技術開発、生産性の向上、経費節減等において「すぐれたアイディア」を提案し、企業の発展に貢献した会員企業の従業員を顕彰します。

4　会員企業等のネットワークの活性化

（1）会員企業間の情報交換の場の創出
（2）各委員会の交流の活性化

5　会員サービス事業

「災害共済」「労災保険」などの各種福利厚生事業を実施するとともに、市工連独自のＰＬ保険への加入を促進します。

また、会員サービスの向上につながる団体割引等の取りまとめをします。

Ⅳ　法人運営（法人会計）

【5,808千円】

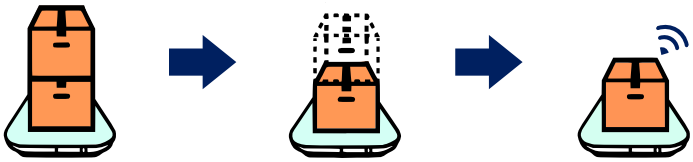
総会・理事会の開催などにより、市工連を運営します。

置くだけ！手軽に在庫管理

重量センサ搭載
Smart mat

マットの上に商品を置くことで商品の増減を計測
在庫状況をスマホやタブレットで手軽に確認することが出来ます

商品を載せる　在庫が減ると　利用者へ通知



JSP Smile Engineering
株式会社ジェイエスピー
横浜市西区高島 2-6-32
横浜東口ウィスポートビル
ＴＥＬ：045-444-3470
E-mail：smartmat@jspnet.co.jp
ＵＲＬ：https://www.jspnet.co.jp

特集 人材確保・育成支援の取組み

（1）新入社員フォローアップ研修

令和２年２月19日（火）に入社後１年目の新入社員をはじめ若手社員の方を対象に、「新入社員フォローアップ研修」を開催しました。

入社後を振り返り、自分の仕事の進め方を再認識するとともに、自分の強みや課題を客観的に認識し、前向きなマインドを構築することを目的としています。

講義

４社10名（男性７名、女性３名）の参加者は熱心に受講し、「聴く」ことの本質や、クレーム対応の仕方などをグループワークで学び、今後の役に立つ内容だったと好評でした。

講義のあとは講師を囲み、他社の同年代の人たちと軽食で交流し、親交を深めました。

今年度も後輩社員の入社してくる直前の、２月に開催する予定です。ぜひご参加をご検討ください。

交流会

（2）出前講座
関東学院大理工学部での榎本市工連会長の講義

「LINKAI横浜金沢」では、区内大学を対象として、企業で働く人と学生の意見交換会や工業団地見学会を年２回開催して、「働くのに魅力あるエリア」として認識してもらい、中小企業の人材確保につなげる企画を実施してきました。

今回は、企業のトップが、「どのような考え方で人材を求めているか」について学生が認識し、今後の学生生活の資となる講義をする企画が持ち上がりました。

令和元年６月７日（金）及び７月25日（木）、市工連榎本会長による関東学院大学理工学部応用化学コース（１年生48名）及び総合機械コース･ロボティクスコース（１年生70名）に対して「経営者が伝える中小企業での働き方、社員に対する考え方」についての講義が行われました。

今回の講義は、関東学院大学の学生の多くが、神奈川県内から通学しており、就職先も自宅からの通勤が可能な企業を希望する者が多いことから、職住近接を推進する横浜市及び金沢区、人材の確保を必要とする企業、社会教育を目的とする大学側、それぞれの期待が込められ授業の一環として実施されました。

講義に先立ち、金沢区区政推進課八谷課長より、金沢区臨海部にある中小企業約1300社が集積した「LINKAI横浜金沢」という日本最大級の産業団地について紹介がありました。

市工連　榎本会長

講義は、榎本会長の自己紹介にはじまり、企業が必要とする社員像を紹介しながら、大学生のときには「どのような仕事に従事したいか、そのために何を学ぶかを決めて勉強しなさい。また、企業で必要なのは知識以前にコミュニケーションと人間力である。」と述べられました。

１時間という短い時間でありましたが、学生たちもいつもと違う雰囲気の中、企業経営者の観点からの話に真剣に聞き入っていました。

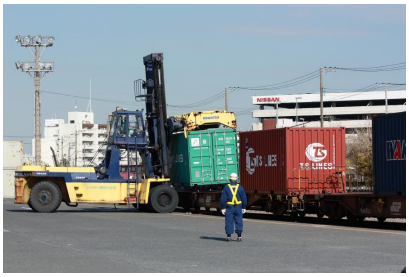
関東学院大学フォーサイト９階　教室

【講義後のアンケートの紹介】

・榎本様の話は、どうこれからを生き抜いていくのか、２年後の就活に向けてのエールのように感じました。どんな風に会社を選べば良いのかについての話は、本当に将来に役立つと思いました。
・話を聞くまでは、中小企業より大企業の方が諸々のことを考えると良いと思っていましたが、中小企業の実情を聞いてどちらが良いということではなく、自分がその会社のことを良く思えるかが大切であると思いました。
・会社を見る観点がこんなにたくさんあるとは思いませんでした。
・榎本会長のお話にあった「学生時代にやるべきこと」がとてもためになりました。

市工連では、これまで高校生や職業訓練生等に対して出前講座を行ってきましたが、大学生にとってもとても有意義だということが分かりました。

横浜臨海部発着の物流に、鉄道輸送という選択肢を。



神奈川臨海鉄道株式会社
〒210-0007川崎市川崎区駅前本町11-2 川崎フロンティアビル7階
TEL：044-245-8150　e-mail：contact@kanarin.co.jp

（3）「横浜マイスター」について
（Yokohama Meister Project）

横浜マイスター
ロゴマーク

横浜市は、平成８年度から、市民の生活・文化に寄与する優れた技能職者を「横浜マイスター」に選定する事業を行っており、令和元年度までに計61名を選定しています。

この事業は、横浜マイスターが行う活動を通して、後継者の育成・確保、貴重な技能の承継を含む技能職の振興を図ることを目的としているため、横浜マイスターは、過去の功績だけでなく、将来の活動を期待して選定されています。

横浜マイスターの対象職種としては、手作業により又は工程の一部に手作業で制御する機械を用いてものづくり又はサービスの提供を行い、技能の習得に長年にわたる研鑽と経験を要する職種となります。

選定の基準は次のとおりです。

1　横浜市内に在住すること。
2　継承を求められる貴重な技能を有すること。
3　卓越した技能を有すること。当該職種に係る15年以上の経験年数を有し、技能検定がある職種は１級又は単一等級、その他公的資格のある職種は技能検定１級、単一等級に準じる資格を有すること。
4　当該職種により生計を維持していること。
5　後進の育成に意欲を有し、技能伝承の能力に優れていること。
6　業界の発展及び技能・技能職の普及・振興に意欲及び能力を有すること。
7　横浜マイスターとしてふさわしい人格及び事務管理能力を備えていること。
8　横浜マイスターとして５年以上の活動が見込まれること。

令和元年度から対象職種を拡大し、金属加工・機械器具関係（工場板金、ヘラ絞り、めっき等）を新たに追加しました。

また、横浜マイスターに選定された場合、活動奨励金として選定初年度に30万円、２年目に20万円が支給され、後継者の育成等の活動に活用いただけます。詳細はHPを御確認ください。

横浜マイスター　検索

（4）「ものづくりマイスター制度」
（厚生労働省委託）活用のご案内

神奈川県職業能力開発協会では、厚生労働省の委託を受けて、若年技能者人材育成支援等事業である「ものづくりマイスター制度」を運営しています。この制度で認定された様々な分野の熟練技能者50職種409名が、中小企業等を対象に実技指導を行っています。

例えば、若手社員の技能向上を図りたい、新しい設備を導入したので安全面を含めた技術指導を受けたい等、様々なニーズにお応えします。

講師の謝金・交通費、材料費（上限あり）については当協会が負担しますので、ご活用されてはいかがでしょうか。詳細についてはお問合せください。

1　費用
・講師の謝金・交通費は当協会負担（規定の範囲）
・材料費の一部負担（上限あり）

2　派遣先
依頼者の施設
＊設備を使う職種は依頼者施設の設備を使用

3　対象者
県内の中小企業の従業員（原則35歳以下）

4　事例
製造業３年目以内の社員に週１回３時間を計７日間など

指導の様子

【問合せ】
かながわ技能振興コーナー
（神奈川県職業能力開発協会）TEL045-633-5403
E-mail:shien@kan-nokaikyo.or.jp
URL：http://www.kanagawa-ginou.com

市工連からのお知らせ

1　人材育成に関する３つの事業紹介

Ⅰ　技術者育成支援事業《会員限定》
～「技能検定試験」の受検手数料を補助～

国家検定制度による「技能士」の存在は、企業にとって高い技術力の証明となり、顧客からの信頼を得られるとともに、生産性向上や製品の品質維持に繋がり、さらに技能の承継や人材育成にも役立ちます。

当事業では、技能検定の受検費用を負担した企業に対し受検手数料の補助をするものですが、今年度は、１社あたりの支給上限の見直しを予定しています。従業員の皆さまの人材育成のためにご活用ください。

10月１日（木）から募集します。「受検票の写し」や「受検手数料の領収書の写し」など、申請の際に必要な書類は保存しておいてください。

Ⅱ「すぐれたアイディア提案者」の表彰《会員限定》

技術開発、生産性の向上、経費節減及び販売促進などに寄与した従業員の方の「すぐれたアイディア」を募集し、アイディアを提案された方を広く顕彰しています。企業外部の表彰制度である当事業を、社員の勤労意欲の高揚や企業振興の一助として、是非ご活用ください。

※申込等の詳細は市工連ホームページの「最新情報」あるいは「かわらばん」をご覧ください。

→ http://www.y-shikouren.or.jp/

Ⅲ　ものづくり企業紹介フェアの開催

市工連では、毎年２月に開催される「テクニカルショウヨコハマ」の２日目に「ものづくり企業紹介フェア」を開催しています。

製造業や中小企業への理解を深めるため、高校生の皆さんが企業の経営者の方などから講演を聴き、その後、展示会場を見学するものです。

ものづくりや中小企業で働くことなどについて、熱く語る姿は高校生にとってとても印象に残るようです。講演の後、テクニカルショウヨコハマの展示ブースを見学したり、ものづくり体験をすることで、見聞を広めてもらいます。

これからの担い手となる生徒の皆さんに中小企業や製造業の魅力を伝えるために、企業の皆さまのご協力をよろしくお願いします。

2　令和２年　これまでの事業報告

就職に関する懇談会

６月16日（火）に、横浜市内を中心とした県内の高校等の進路指導担当教員と市内中小製造企業等の経営者や採用担当者が一堂に会し、学校と企業の「就職に関する懇談会」を横浜市経済局と市工連の共催で開催しました。

今回は、コロナウィルス感染拡大防止対策のガイドラインに沿った準備をするために、開催日を1週間延期し会場も産貿ホール大ホールになりました。

今年は、学校と企業からそれぞれ懇談先の希望をお聞きしあらかじめ組み合せを一部作り、学校のブースを企業が訪れる形で行い参加の皆様から好評でした。

また、採用に関する多くの催事が中止になる中、貴重な機会になったとという声を多くいただきました。なお、今年は学校で14校（21名）、企業は38社（38名）の参加をいただきました。

第41回工業技術見本市
「テクニカルショウヨコハマ2020」を開催しました

令和２年２月５日（水）～７日(金)パシフィコ横浜 展示ホールにおいて、第41回工業技術見本市「テクニカルショウヨコハマ2020」を開催。３日間で約33,000人が来場しました。

今回は、神奈川県内の中小企業を中心に創業間もないベンチャー企業から大企業まで、830社・団体が出展しました。ロボット特設、ＩｏＴ特設、加工技術、機器・装置・製品、研究開発、ビジネス支援の６つのゾーンと小規模企業コーナーを設置し、素材・部品・研究開発・製造から福祉・環境問題に至るまで、ハードとソフト両面において、自社の製品や技術力が積極的にアピールされていました。

出展者アンケートでは、75%の方から「引き合い・問い合わせがあった」、77％の方から、「成果があった・多少成果があった」との回答をいただきました。

開会式

企業紹介フェア

ものづくりや製造業に対しての理解を深めるため、神奈川県立商工高等学校１年生214名の参加を得て、企業紹介フェアを開催しました。

横浜電子株式会社代表取締役・横浜ＩｏＴ協同組合理事長　神田一弘氏から「働くということについて」、第一フォーム株式会社代表取締役　澁谷正明氏から「ものづくり中小企業の楽しさ、はたらきがいとは」という講演を聴いた後、テクニカルショウヨコハマ2020を見学しました。

「講演の話が印象に残った。」「今まで知らなかった分野の企業が多く、どの企業もすごい技術を持っていて見学が楽しかった。」などの感想が聞かれました。また「講演していただいた社長さんの会社に入りたい。」といった感想もありました。

横浜電子㈱代表取締役
神田　一弘氏

第一フォーム㈱代表取締役
澁谷　正明氏

「テクニカルショウヨコハマ2020」横浜ものづくりゾーン

「テクニカルショウヨコハマ2020」で、横浜市は付加価値の高いものづくりを志向し、実践する市内中小企業を応援するスペース「横浜ものづくりゾーン」を出展しました。

93社･団体、（個別応募企業:16社、横浜青年経営者会:10社、メイドインつづき:32社、港北オープンファクトリー：４社、LINKAI横浜金沢：16社、横浜市新技術・新製品開発促進事業認定企業：９社、行政：６団体）が出展し、横浜のものづくりをけん引する企業・グループの技術や製品が紹介されました。

令和２年度横浜市予算に対する産業振興に関する要望についての横浜市からの回答

市工連では昨年秋、令和２年度の横浜市の予算編成にあたり、市内の産業振興を図るための政策提言及び要望をまとめ、要望書として提出しました。

このたび、横浜市から、次のとおり回答がありました。ここには、重点要望の回答の要旨のみ掲載しまが、市工連のホームページに全文が掲載されていますので、そちらをご覧ください。

【重点要望】

１　操業環境の改善

（1）　住工共生のためのものづくりへの理解の促進

㋐　地域に理解してもらう取組みへの支援

㋑　近隣環境対策の取組みへの支援や操業環境整備に関する支援

㋒　騒音・振動に関する配置基準等の規制の見直し

【回答】

・共生関係を築くための取組みを支援

・ものづくりの魅力を発信する取組みを通じて、操業環境の維持向上に取組む。

・規制基準に適合するよう施設の設置を要請しており、必要な助言や情報提供を行う。

（2）　工場緑化に関わる負担の軽減

【回答】

◎「緑の環境をつくり育てる条例」において

・外周部を中心に半分以上を量感のある樹木にすることで残りを芝等で計画できる。

・緑化協議での壁面緑化の基準については、引き続き検討

◎「横浜みどりアップ計画」において

・基準以上の緑化を行う事業者のオープンスペースでの緑化に助成

・基準以上の緑化を行い保全することで固定資産税等の軽減を行う建築物緑化保全制度や事業者が広場や緑地空間を整備管理する市民緑地認定制度などを通じて支援

２　販路拡大

（1）　企業のブランド力を高める取組みの推進及びＰＲ

【回答】

・民間就職情報サイトに認定企業等の特集ページを設け求職者にPR

・ウェブサイト上での広報や区のイベント等でのPR

・地域貢献企業では、他の認定・認証制度の取得を評価項目とするなど制度間の連携や申請手続きの簡素化を図る。

（2）　公共事業発注の際に地元経済の活性化につながる発注の仕組みの検討

㋐　地域貢献企業に認定されている市内企業への優先発注

【回答】

・地域貢献企業のほか、優良工事表彰事業者、災害協力事業者等に対して３割程度をインセンティブ発注

㋑　地元優先の実を上げるための「地元地区優

株式会社 マック
〒232-0014　神奈川県横浜市南区吉野町2-4-2
TEL 045-315-2120 / FAX 045-315-2203

先の指名競争入札」の実施

【回答】

土木、舗装等の下位ランク工事で、地元区を中心とした行政区区分で発注

㋒　JV発注工事における構成員参加条件の緩和（業種JVの実施）

【回答】

技術力結集型JVとしての必要最小限の条件を求めている。

㋓　発注時期の平準化

【回答】

平準化のために、「早期の発注」、「発注時期の分散」、「年度を跨ぐ工事の発注」のバランスをとっている。

㋔　適正価格での下請けの受注

【回答】

入札参加条件の弾力的設定と発注者への適正価格での下請契約の依頼

㋕　下請けいじめ防止の対策

【回答】

適正な賃金や法定福利費を反映した下請け契約の締結等の要請。

3　人材確保・育成

（1）　人材確保のための仕組みづくり

【回答】

・求人サイトを活用し、市内中小企業で働く魅力を求職者に発信

・市内大学等と連携し、引き続きインターンシップ受入支援を実施

（2）　多様な人材活用のための職場環境の整備

【回答】

・横浜市就職サポートセンターであらゆる方を対象とした様々な就労支援に取組む。

・多様な働き方創出や勤労者の福祉向上のため、セミナーによる普及啓発

・横浜しごと支援センターでの労働相談やワーキングガイドによる法制の周知

・就業規則の改定や女性専用設備の設置、テレワーク導入等にかかる費用等柔軟な働き方の環境整備のための費用の一部助成

・外国人採用企業の事例紹介やセミナーの開催による外国人受入れ支援

（3）　ものづくりの楽しさのＰＲ

㋐　ものづくり産業を地域に理解してもらう取組みの各区での実施

㋑　教員にものづくりを知ってもらう働きかけと地域の取組みへの協力及び魅力発信のためのＰＲ事業

【回答】

・コマを通じ、中小企業の技術力やものづくりの楽しさを伝える。

・小学生を対象に「まち工場ものづくりイベント」を初開催

・地域と連携し、オープンファクトリーなどものづくりの魅力を広く発信

・教育委員会では教員向けに研修を実施

4　ものづくりの活性化のための支援

（1）　競争力を高めるためのIoT導入支援

【回答】

・IDEC横浜では、専門家派遣により支援

・導入現場の視察会やセミナーを開催

（2）　BCPの作成支援

【回答】

・IDEC横浜で、無料相談のほか、専門家派遣による策定支援を実施

・事業継続力強化計画認定制度推進のために、セミナーの開催や専門家派遣によって策定支援を行う。

令和２年度５月補正予算における横浜市経済局制度のご案内

事業の継続を後押し！

資金繰り支援

◆横浜市新型コロナウイルス感染症対応資金（実質無利子融資）

新型コロナウイルス感染症の影響を受ける市内中小企業の皆様の資金繰りを支援します。

【資金の特徴】

・融資額4,000万円まで（4,000万円超の融資をご利用の方は横浜市が保証料を助成する低利融資あり）
・実質無利子・無担保（当初３年間の利子相当分をキャッシュバックします）
・据置期間は最大５年間
・信用保証料半額又はゼロ

要件を満たした場合は、既存のお借入れ分の借換えも可能です。
まずは、お取引のある又は最寄りの金融機関にご相談・お申込みください。

経営支援

◆新型コロナウイルス感染症対応小規模事業者等支援事業

実質無利子融資（横浜市新型コロナウイルス感染症対応資金）により、50万円以上、500万円以下の融資を受けた小規模事業者等の方には、一時金10万円を交付します。

【問合せ先】小規模事業者支援一時金コールセンター（ＩＤＥＣ横浜）　ＴＥＬ：045-225-3725

職場環境向上を後押し！

人材確保支援

◆中小企業職場環境向上支援助成金

市内中小企業の人材確保・定着に向けた環境整備に取り組む際（就業規則等の変更、女性用設備の設置テレワークシステム導入整備等）、その費用の一部を助成します。

また、新型コロナウイルス感染症への対策として、柔軟な働き方を推進する目的で新たに「テレワークを導入」する場合、助成率や導入期間の特例（新型コロナウイルス感染症対策のためのテレワーク導入特例）を設けています。

【問合せ先】経済局経営・創業支援課　ＴＥＬ：045-671-2748

お知らせ

◆経済産業省による生産性向上特別措置法に伴う設備投資支援事業の拡充・延長

生産性向上特別措置法の適用対象に事業用家屋と構築物が追加されました。また、適用期限が令和４年度まで延長されました。中小企業等で、本市の認定を受けた「先端設備等導入計画」に基づき設備投資を行う場合、固定資産税の特例措置（３年間固定資産税ゼロまたは1/2）などの支援を受けられます。

【問合せ先】経済局ものづくり支援課　TEL：045-671-3490

※ その後も新たな支援策が打ち出されていますので、横浜市のＨＰをご覧ください。

PRINTING HOUSE FUTABA

看板

看板等も施工いたします

神奈川県屋外広告業登録 第1970号
横浜市特例屋外広告業届出 第2471号

有限会社 双葉印刷所

〒236-0002
横浜市金沢区鳥浜町2-13
TEL 045-353-8531
FAX 045-353-8534
www.futaba-printing.co.jp

LINKAI つなぎあい えがくみらい 金沢区活性化委員会
YOKOHAMA 地域貢献企業
2019 横浜健康経営

写真：大手町タワー（2014年4月竣工）

「鉄ひとすじ」で80年。そして、これからも。

株式会社加藤組鉄工所は1935年の創立以来、およそ80年にわたり鉄を通じて、東京や横浜を中心に、戦前・戦後の都市と産業の成長と共に歩んで参りました。そうして培った当社の技術と製品は、都市開発の基盤となり、日本中の誰もが知るランドマーク建築をはじめ、オフィスビル、駅、工場、商業施設など、人々の生活や産業を守るために欠かせない様々な建築物を、今日も支え続けています。

株式会社 加藤組鉄工所
KATOH-GUMI STEEL CONSTRUCTION CO.,LTD.

本社　横浜西口加藤ビル
〒220-0004　神奈川県横浜市西区北幸２丁目９番３０号
TEL 045-311-2141（代表）　FAX 045-311-2143

横浜西口Kビル
〒220-0004　神奈川県横浜市西区北幸２丁目８番１９号

厚木工場
〒252-1125　神奈川県綾瀬市吉岡東４丁目７番１１号
TEL 0467-78-3635（代表）　FAX 0467-76-4578

製品ストックヤード
〒252-0822　神奈川県藤沢市葛原字聖台173番地

スピードと几帳面

私たちは、五分野でプロとしての矜持を胸に刻み、横浜市優良工事請負事業者の名に恥じぬよう、神奈川全域でお客様満足度No.1を目指します。

KIRIGAYA CORPORATION
桐ケ谷工業所

本　　社　：〒221-0044　横浜市神奈川区東神奈川2-49-16
TEL:045-461-0471 / HP: http://www.kirigaya-eng.co.jp/
川崎事業所　：〒210-0869　川崎市川崎区扇島1-1 JFE構内
ベトナム支社　：　ベトナム ハノイ ディスカバリー コンプレックスタワー17F

Asahi

氷点下の三ツ矢サイダー

COLD EXPERIENCE

MITSUYA CIDER −5.0℃

凍る直前マイナス5℃

キンキンの冷たさ&シュワシュワな炭酸感を
楽しめる三ツ矢サイダーです！

フリージング現象※

マイナス5℃前後という温度帯をはじめとした一定の条件下において、
キャップ開栓後、液体が徐々にシャーベット状に凍っていく
フリージング現象が起こる場合があります。

※フリージング現象は、一定条件を満たさない場合や外気温等の環境によって起きない場合があります。

自動販売機の御用命は、下記まで宜しくお願い致します。

アサヒ飲料販売株式会社 横浜北支店

神奈川県横浜市
港北区新羽町1150-1

TEL045-543-8181

100年のワクワクと笑顔を。
アサヒ飲料

「三ツ矢」「MITSUYA」「三ツ矢サイダー」「MITSUYA CIDER」はアサヒ飲料株式会社の登録商標です。

のんだあとはリサイクル